



夏は昆虫採集！ クワガタムシを探そう



子どもたちに人気の昆虫と言えば、クワガタムシ！特にアゴが大きなオスが人気で、集めている人もいることでしょう。

町内ではこれまでに12種類のクワガタムシの生息が確認されています。県内には17種類のうち7割は町内で見つけることができるのです。

綾町にいるクワガタムシ

- マダラクワガタ
- ネブトクワガタ
- オオクワガタ
- ミヤマクワガタ
- コクワガタ
- スジクワガタ
- アカアシクワガタ
- ノギリクワガタ
- ヒラタクワガタ
- マメクワガタ
- チビクワガタ
- オニクワガタ



ヒラタクワガタ

クワガタムシの幼虫は一般的に、朽ちている木の中で育ちます。湿り気のある森の中で朽ちた木をそつと割ると、いろいろな昆虫が見つかりますが、その中に、一見カブトムシの幼虫のような形の幼虫がいたら、それはクワガタムシの幼虫である可能性があります。見分けるポイントは、幼

虫のお尻にある肛門が縦に割れているとクワガタです。横に割れているとカブトムシなどコガネムシ類の幼虫になります。

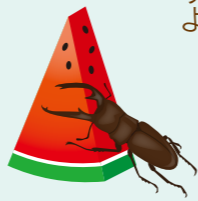
日本には、クワガタムシが46種も生息しています。九州（離島を除く）では19種類、宮崎県では17種が確認されています。綾町でも、標高700〜800メートルの樹林内で調査をすれば、新たにヒメオオクワガタが見つかる可能性があります。希少な種類であるルリクワガタ、ニシコリリ、ニセコリリの3種類は、標高1200メートルを越える山地でブナの新葉を食べる春のクワガタです。綾ユネスコエコパーク内にある掃部岳や式部岳に生息しているかもしれませんね。

この夏、クワガタムシに会いに地元の豊かな森へ出かけてみませんか。昆虫採集や標本づくりに



朽ちた木の中にある幼虫

興味がある人は、ユネスコエコパークセンターをお訪ねください。参考になる図鑑などもありますよ。



綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp> ※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館
感染症の影響による休館等の情報はホームページで随時更新します

column

ウグイ

体長20〜30cmの日本の河川中流域を代表する魚。九州ではイダと呼んでいます。雑食性で何でも食べるため、釣りの対象としても親しまれています。

淡水中で一生涯を終える淡水型と、海に下る降海型があり、北の地方ほど降海型の個体数が多いと言われています。サクラが咲くころから初夏にかけて産卵します。産卵は大雨の後に群れをつくって行われ、その習性を利用した漁が盛んに行われている地域もあります。

地味な体色のためあまり特徴がありませんが、産卵期の成魚は、オス・メスともに派手な朱色から黒色、金色の体に変化するため、ほかの魚と間違えることはほとんどありません。



多年草だより

南九州大学環境園芸学部講師の牧田直子先生と学生が5月、ナチュラルガーデン錦原・尾堂を訪問し、植栽デザインについて学びました。

ユネスコエコパーク推進室職員が生態学的視点から見た多年草などについて講話をしたほか、現地では在来種などの植物の生育状況や特徴などを説明しました。また、両ガーデンの植栽デザインや管理指導を行っているガーデナー・平工詠子さんが、景観や植生を生かした花壇づくりなどについて話をしました。

同大学の学生は今年度、郷鳴交差点南側にある町有花壇で植栽デザインなどの現地実習に取り組み計画です。

